

# 志岐新聞

発行所 志岐新聞社  
(株式会社アットマーク内)  
〒811-5132 長崎県志岐市  
郷ノ浦町東船942-1  
TEL 0920-48-1860  
FAX 0920-48-1265  
購読料1ヵ月1,320円(税込)  
毎週金曜日発行  
代表 山内 武志  
編集長 高瀬 正俊

ご婚礼☆記念写真  
**STUDIO**  
赤木フォトサロン  
「写真は未来の宝物」  
**赤木写真館**  
47-0063

## 早期解決向け1千頭を目標に

### 猫119頭に不妊去勢手術、12月に第2回予定

どうぶつ基金

犬や猫の殺処分ゼロの実現を目指す公益財団法人どうぶつ基金(兵庫県芦屋市、佐上邦久理事長)は9月28、29日、本市で野良猫や多頭飼育の状況にある猫119頭に無料不妊手術を実施した。手術会場の市立郷ノ浦の「旧しんぎょれん」の建物には、事前に申し込まれた猫が持ち込まれ、建物横の同基金から派遣された獣医師がスベイカー内で次々と手術。猫にはワクチンとノミ駆除薬も投与され、手術後は元の場所に戻された。手術は市長からの申請を受けて実施され、27日には佐上理事長が篠原一生市長を表敬訪問。佐上理事長は「問題を解決するには、飼い猫も含めて全頭不妊手術をしないと、結局は元の木阿弥(もとのもくあみ)」と強調し、「継続して獣医を送る準備がある。市も市民もボランティアの方も一体となって進めていきたい。1千頭くらいを目標に(手術を)やっていきたい」と述べ、野良猫の問題解決に向け、市が市制の体制を求めた。



篠原市長を表敬訪問した佐上理事長(左)ら  
「市民館などで不妊手術の台意を取るなどしてこのレベル(人口)の猫で手術を全て終え、『猫にも人にも優しい島』というモデルを作り上げると、世界

佐上理事長はさらに「公民館などで不妊手術の台意を取るなどしてこのレベル(人口)の猫で手術を全て終え、『猫にも人にも優しい島』というモデルを作り上げると、世界

市は同年7月から、どうぶつ基金が行う「さくらね無料不妊手術事業」に参加し、同基金が発行する「無料不妊手術チケット」を使い、福岡の協力病院でこれまで50頭の不妊去勢手術を実施してきた。その際、同お守り隊200人が猫を搬送するなど活動をサポートしてきた。

不妊去勢手術をした後に元の場所に戻し、地域の猫として生涯を守る「地域猫活動」(TNR)と呼ばれる。本市でのTNRは、大村市のNPO法人がクラウドファンディングで寄せられた資金を

市は同年7月から、どうぶつ基金が行う「さくらね無料不妊手術事業」に参加し、同基金が発行する「無料不妊手術チケット」を使い、福岡の協力病院でこれまで50頭の不妊去勢手術を実施してきた。その際、同お守り隊200人が猫を搬送するなど活動をサポートしてきた。

不妊去勢手術をした後に元の場所に戻し、地域の猫として生涯を守る「地域猫活動」(TNR)と呼ばれる。本市でのTNRは、大村市のNPO法人がクラウドファンディングで寄せられた資金を

もに昨年11月に初めて実施。今年7月にも県の動物殺処分ゼロプロジェクトの一環として行われ、これまでに330頭(今回除く)の猫に不妊去勢手術を行ってきた。

表敬訪問に同席したお守り隊209の松嶋代表は「行政とタッグを組み、市が主体となり今までのような大きな部分で、市長に伝えられたのはありがたいと思



譲渡会もあった動物愛護フェスティバル

う」と話した。市によると30日に関係者が今後の活動について話し合い、継続して手術を実施していく、12月に第2回を予定している。